



2026年7月1日

各位

会社名 株式会社 WOLVES HAND
代表者名 代表取締役 CEO 兼 COO 北井 正志
(コード：194A、東証グロース市場)
問合せ先 執行役員 CFO 田中 哲生
(TEL. 06-6599-9106)

メディトリックス株式会社の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ — One Health プラットフォーム戦略の進展 —

当社は、本日開催の臨時取締役会において、メディトリックス株式会社（以下「メディトリックス社」）の全株式を取得する株式譲渡契約書を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式取得の目的

当社グループは、「One Health」(*)の理念のもと、動物医療を起点として、医療機器、研究開発、バイオマテリアル、データ解析、教育、人材育成等を統合した「One Health プラットフォーム」の構築を推進しております。

(*) 「One Health」の定義

人の健康、動物の健康、環境の健全性は相互に関連し、影響し合うという考え方。それらを一体に捉え、相互に健康と持続可能な社会の実現を目指すアプローチ

当社グループは現在、

- ・動物病院運営事業
- ・先端医療、再生医療等の研究開発事業
- ・医療機器事業（飛鳥メディカル）
- ・光触媒関連事業（カルテック）
- ・バイオマテリアル事業（キチンナノファイバー）
- ・電子カルテシステムの製作および販売、データ解析事業
- ・獣医療情報プラットフォームの運営（VMN）

といったプラットフォームバリューのエンジンとなる各事業を展開しております。

一方で、研究開発成果を社会実装し、新たな製品・サービスとして市場へ提供するためには、臨床研究支援機能及び治験支援機能の強化が重要な経営課題であると認識しております。

メディトリックス社は、医療・ヘルスケア領域において CRO（Contract Research Organization：開発業務受託機関）及び SMO（Site Management Organization：治験施設支援機関）事業を展開しており、臨床研究支援、治験運営、データマネジメント等に関する豊富なノウハウを有しております。そのため、当社のプラットフォームの価値創造において、メディトリックス社は研究開発成果を社会実装へ接続する中核機能を発揮してくれるものと期待し、本件株式取得を決定いたしました。

本件により当社グループは、研究テーマの創出から研究開発、臨床研究、治験、製品化及び社会実装に至るまでのバリューチェーンを強化し、グループ内で一貫通貫して推進できる体制の構築を目指してまいります。

2. 本件による主なシナジー

(1) 飛鳥メディカルとのシナジー

飛鳥メディカルが展開するレーザー医療機器及び今後の新規医療機器開発において、臨床研究及び治験支援機能をグループ内で活用することにより、開発効率及び市場投入スピードの向上が期待されます

また、獣医療領域に加え、人医療領域への展開可能性についても検討を進めてまいります。

(2) カルテックとのシナジー

カルテックが保有する光触媒技術について、動物病院、医療機関、介護施設及び住環境等における活用可能性を検証するための臨床研究体制を強化いたします。

メディトリックス社の研究支援機能を活用することで、空気環境改善、感染対策及び QOL 向上等に関するエビデンスの蓄積を進め、技術の社会実装を加速させてまいります。

(3) バイオマテリアル（キチンナノファイバー）事業とのシナジー

創傷治療、再生医療、医療材料等への応用が期待されるキチンナノファイバーについて、動物医療領域のみならず、人医療領域への展開に向けた研究開発基盤を強化いたします。

臨床研究及びデータ収集機能を活用することで、新たな用途開発及び製品化を推進してまいります。

(4) 先端医療研究開発事業とのシナジー

先端医療技術、創薬、再生医療等の研究分野において、研究成果の臨床応用を推進するための研究支援体制を強化いたします。

また、大学、研究機関及び医療機関との共同研究の推進により、グループ研究開発力の向上を図ります。

(5) データ解析事業とのシナジー

当社グループは、当社の電子カルテシステムの次世代化について株式会社ダイナコムと共同開発を進めておりますが、動物病院ネットワークを通じて蓄積される診療データ、検査データ及び画像データを活用したデータ解析事業の構築を進めております。

メディトリックス社の有するデータマネジメント機能及び研究支援ノウハウを取り込むことで、

- ・リアルワールドデータ（RWD）
- ・リアルワールドエビデンス（RWE）

- ・ AI 解析基盤
- ・ 疾患予測モデル
- ・ 臨床研究データベース

等の整備を加速し、研究開発及び新規事業創出を推進してまいります。

(6) One Health プラットフォーム構想の推進

本件により、

「動物病院ネットワーク→研究テーマ創出→研究開発（キチンナノファイバー、再生医療、光触媒等）→医療・衛生機器開発（飛鳥メディカル、カルテック）→臨床研究・治験（メディトリックス）→データ解析・AI 活用→製品化・社会実装」という当社の「One Health プラットフォーム」の競争優位性強化を図ります。

3. 異動する子会社（メディトリックス社）の概要

(1) 名 称	メディトリックス株式会社			
(2) 所 在 地	東京都千代田区二番町 11 番 9 号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 尾芝一郎			
(4) 事 業 内 容	CRO (Contract Research Organization : 開発業務受託機関) 事業 SMO (Site Management Organization : 治験施設支援機関) 事業			
(5) 資 本 金	34,852 千円			
(6) 設 立 年 月 日	2007 年 1 月 30 日			
(7) 大株主及び持株比率	尾芝一郎 74.6%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき事項はございません。		
	人的関係	記載すべき事項はございません。		
	取引関係	記載すべき事項はございません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 3 月期
	純 資 産	△179,669 千円	△118,104 千円	△12,024 千円
	総 資 産	67,056 千円	17,800 千円	186,666 千円
	1 株 当 たり 純 資 産	△122,307 円	△80,398 円	△8,185 円
	売 上 高	104,244 千円	240,289 千円	283,987 千円
	営 業 利 益	△12,867 千円	61,951 千円	91,578 千円
	経 常 利 益	△11,949 千円	61,748 千円	91,378 千円
	当 期 純 利 益	△19,020 千円	61,564 千円	106,080 千円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	— 円	41,909 円	72,212 円
	1 株 当 たり 配 当 金	0 円	0 円	0 円

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	尾芝一郎、その他個人株主 3 名
(2) 住 所	兵庫県芦屋市ほか
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	記載すべき事項はございません。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	1,469株 (議決権の数：1,469個)
(3) 異動後の所有株式数	1,469株 (議決権の数：1,469個) (議決権所有割合：100.0%)

※ 取得価額については相手方からの要請により開示を差し控えておりますが、当社内で株式価値評価（DCF 法等の手法によるもの）および法務・財務に関する調査を実施・検討し、株式取得の相手方との協議を経て決定しております。

なお、取得価額は当社の直前連結事業年度及び直前事業年度における純資産額の 15%未満であり、開示基準には該当していません。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年7月1日
(2) 契約締結日	2026年7月3日（予定）
(3) 株式譲渡実行日	2026年7月15日（予定）

7. 今後の見通し

本件株式取得は、当社グループが推進する One Health プラットフォーム戦略において、研究開発、医療機器、バイオマテリアル、データ解析及び臨床研究を有機的に結び付ける重要な基盤整備であると位置付けております。

本件により、当社グループは動物医療を起点とした研究開発型プラットフォーム企業への進化を加速させ、中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

なお、本日から開始した当期連結業績に与える影響については現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以上

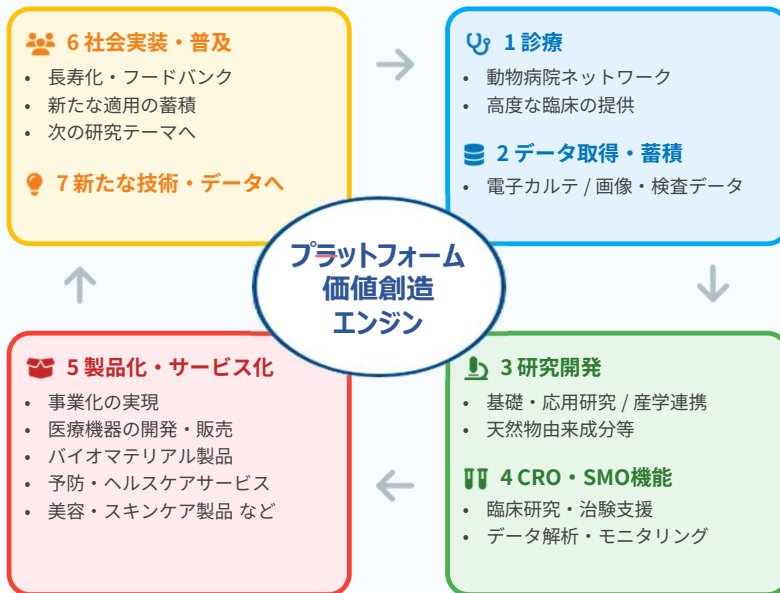
WOLVES HAND プラットフォームバリュー 価値創造エンジン

One Healthの実現に向けて、動物医療からヒト医療・環境領域へ価値を創出する統合プラットフォーム

当社グループの強み（統合アセット） = 収益の源泉

- 1 動物病院ネットワーク<臨床インフラ>**
全国の動物病院ネットワーク / 症例蓄積・獣医師の臨床経験
- 2 医療機器事業（飛鳥メディカル） 2025年10月連結**
調達から販売まで自社完結 / 製造・販売・保守
- 3 衛生環境事業（カルテック） 2026年1月連結**
光触媒技術の応用/空気清浄（脱臭・防ウイルス）の徹底 / 院内環境改善と健康配慮事業
- 4 バイオマテリアル事業 2026年4月事業開始（移管）**
キチンナノファイバーの自社生産・販売 / 再生医療・創薬支援
- 5 先端医療研究開発事業**
先端医療技術・創薬・AI医療機器など / 産学連携
- 6 電子カルテシステム**
次世代型電子カルテ 開発（AI） / データ統合基盤 / 解析事業
- 7 VMN (Veterinary Medical Network)**
獣医師に特化した情報プラットフォーム / 臨床知の集積・教育
- 8 CRO・SMO事業（メディトリックス） 2026年7月連結**
臨床研究支援・治験モニタリング / データマネジメント・統計解析

研究から価値提供までの一貫した収益化サイクルで、継続的な事業機会を創出



研究 — 治験支援 — 製品化 — 価値提供 の導線を強化
One Healthプラットフォームの事業化力を向上し、収益機会を最大化

新たな収益ドライバーを獲得し、事業化・商業化を推進

One Healthの定義

人の健康、動物の健康、環境の健全性は相互に関連し、影響し合うという考え方。それらを一体的に捉え、相互の健康と持続可能な社会の実現を目指すアプローチ。WOLVES HAND は、動物医療を起点にOne Healthの実現に貢献します。

One Healthが生み出す3つの社会価値（=持続的な事業機会）



- ① 動物の健康と福祉の向上**
- 高度な獣医療の提供と質の向上
 - 予防医療の推進によるQOL向上
 - 長寿化に向けた継続的ケア
 - 動物と人のより良い共生社会へ



- ② ヒト医療への貢献（知見・データの応用）**
- ペット医療分野のヒト医療へのブリッジング
 - 抗菌・アレルギー・天然由来成分の応用
 - 化粧品・スキンケア市場への展開



- ③ 環境・感染症対策への貢献**
- 感染症の予防・制御に貢献
 - 環境負荷の低減と持続可能性の推進
 - 抗菌素材による循環型社会の実現

動物・ヒト・環境の健康を統合的に守り、持続可能な社会の実現と新たな市場機会の創出へ

Platform Flywheel（循環効用）による好循環の仕組み

株主・投資家の皆さまへ

統合によるシナジーと事業化力の強化で、持続的な成長と収益拡大へ

当社グループの競争優位性 = 収益機会の源泉

プラットフォーム事業展開により、研究から事業化まで一貫通貫の収益創出モデルをさらに強化し、持続可能な収益機会拡大を目指します。

